

警戒レベルと避難情報について

昨年の豪雨災害を受け、国は新たに警戒レベルを用いた避難情報の運用を開始しました。下呂市においても警戒レベルを用い、避難情報（避難勧告など）と市民がとるべき行動を関連付けて運用していきます。

警戒レベルに応じた自身がとるべき行動を確認し、災害に備えましょう。

【危機管理課】

警戒レベルに対応する避難情報の見方ととるべき行動

警戒レベル	避難情報	根拠情報など	市民のとるべき行動
5	災害発生 サイレンの吹鳴あり	土石流・地すべりがけ崩れ・堤防決壊 越水・内水氾濫の発生 など	命を守るための最善の行動
4	避難指示（緊急） サイレンの吹鳴あり ----- 避難勧告	記録的短時間大雨情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 特別警報 土砂災害の前兆現象の発生 など	全ての人は避難 (指定避難所などへの避難が危険と思われる場合は近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難)
3	避難準備 高齢者等避難開始	警報（大雨・洪水） 氾濫注意情報 避難判断水位超過 など	高齢者など避難に時間を要する人は避難 その他の人は避難の準備
2	—	大雨に関する気象情報	メディアなどで情報把握 自身の避難行動を確認し災害への心構えを高める
1	—	注意報（大雨・洪水）	

災害時にも役立つ！「下呂市メール」配信サービスのご案内

～登録方法～

下呂市では、災害時に役立つ気象情報や地震情報を提供する「下呂市メール」配信サービスを行っています。この他にも、火災の発生や防犯防災情報、子育てに役立つ情報などのさまざまな情報を配信しています。ぜひご登録ください。

QRコードを読み取るか、メールアドレス【gero@sg-m.jp】に空メールを送信すると、折り返しメールが届きます。メールに記載の本登録 URL から登録用サイトに接続し、登録を行ってください。

※登録は無料です。ただし、通信料は利用者の負担となります。

※配信内容は9つのメニューから選択できます。



土砂災害への備え

土砂災害が発生しやすい時とは？

土砂災害は地中にたくさんの雨が貯まった所に強い雨が降ると発生しやすくなります。狭い地域に激しい雨が数時間にわたって降り続く「集中豪雨」や一時的に雨が強まり、局地的に数十ミリの雨量となる「局地的大雨」が発生した時は、土砂災害の危険性が高まるので特に注意が必要です。

土砂災害から身を守るための3つのポイント

1 地域の危険箇所を把握

ハザードマップなどを確認して、普段から危険箇所を把握しましょう。
※ハザードマップは市ホームページから地区ごとに見ることができません。



2 早めに情報を収集

市や報道機関から発表される情報に注意して、屋外の様子にも気を配りましょう。

3 早めの避難

いつ避難すると良いのか、避難所への安全な道順や持ち物などを確認し、暗くならないうちに、早めに避難しましょう。

土砂災害の種類

がけ崩れ

「がけ崩れ」は斜面の地表に近い部分が雨水の浸透などにより緩み、突然崩れ落ちる現象です。



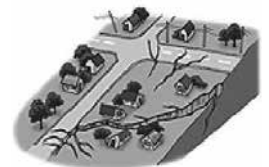
土石流

「土石流」は山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される現象です。



地すべり

「地すべり」は斜面が地下水の影響によって斜面下方に移動する現象です。



土砂災害が発生する前には、崖のひび割れや山鳴りなどの前兆現象が起こる時があります。前兆と思われる現象に気付いたら、周辺の人にも伝え、すぐに避難をすることが大切です。

土砂災害に備える地区防災活動に参加しましょう！

この時期は集中豪雨や土砂災害、河川の氾濫など大雨による災害が発生しやすい時期です。特に昨年の災害の教訓から、災害から身を守るには、自分の身は自分で守る「自助」や自分たちの地域は自分たちで守る「互助」が大切です。

今年も昨年に引き続き、地区ごとに土砂災害を想定した防災訓練または、地域ぐるみで防災・減災について考える区民懇談会を行っていただきます。土砂災害から身を守るために積極的に参加しましょう。



防災減災対策監 ^{あきひろ}今井 昭宏 さん (55)

下呂市では、昨年の豪雨災害で被害を受けた経験から、災害に強い街づくりを推進するため、防災減災対策監に今井昭宏さんを迎えました。今井対策監は萩原町出身で、昨年自衛隊を退官し本年度から下呂市の防災施策に携わっています。

また、気象予報士の資格を有しており、気象図の読み方や防災気象情報の種類など防災対策について市民向けの出前講座を行う予定です。(出前講座の詳細は本紙4・5ページへ)